

# 「日本一の読書のまちづくり」を目指す水俣市

水俣市

Q1

水俣市の学校に係る図書館資料数及び一斉読書実施校数を教えてください。

校 種	学 校 数	図書資料数	一斉読書実施校数
小 学 校	8 校	49,789冊	8 校
中 学 校	7 校	41,690冊	7 校

Q2

水俣市立図書館の資料数について教えてください。

種	児 童 書 数	所 蔵 数
水俣市立図書館	26,991冊	105,815冊

Q3

水俣市立図書館が行っている児童サービスについて教えてください。

○巡回スクールライブラリー

図書館の移動図書館車で毎月各学校を巡回し、配本を行うもの。各小学校100冊、各中学校80冊を配本し、こどもの読書活動の推進を図ります。平成19年3月から行っています。

○読書感想文・標語コンクール

毎年7月に、読んだ本の中から、心に残った作品の感想文や読書活動を推進する標語を各小中学校をはじめ、高校・一般に募り、読書感想文・標語コンクールを開催しています。本年度41回目を数えています。

○童話教室

毎月第3土曜日に、童話の話し方、聞き方などを学び、想像力・理解力・表現力を育て、童話の楽しさを学びながら、読書意欲の向上に役立てることを目的として行っています。参加者は20名程で行っています。

○童話発表大会水俣大会

子どもたちが童話に親しみ、創作力を与えると共に読書意欲の向上を図り、心豊かな人間性の育成に寄与することを目的として行っています。

○青空らくがき大会

子どもたちに図書館に親しみを持ってもらうために、毎年5月の第2土曜日に、図書館前広場で、自分たちの感じたことを自由に画用紙に描いてもらいます。

Q4

水俣市域の学校で行われている、子どもの読書活動に係る取組をいくつか教えてください。

学校名	どのようなことを
水俣第一小学校	○読み聞かせ（朝自習の時間に時間に保護者・地域の方・高学年児童）（毎週火曜日） ○朝読書（毎日8：15～8：25）○読書月間
水俣第二小学校	○読書週間を設定し、クイズや呼びかけ等（5月・10月）
水東小学校	○読書タイム（朝自習）○読書週間を設け、図書委員会の取組として、おすすめの本ポスターの作成・紙芝居、各学年の取組として、読書カード・ポスターづくり
袋小学校	○ボランティア・中学生による読み聞かせ（朝自習）○図書委員会の子もたちによる読み聞かせ（昼休み）○職員による読み聞かせ（給食時）○図書便りの発行（月1回）
湯出小学校	○読書タイム（週2回）○読み聞かせ（職員・中学生・保護者）○図書委員会による紙芝居（昼休み）○読書月間を設定し、縦割り班ごとに読書量を競う（10月～11月）

深川小学校	○保護者ボランティアによる読み聞かせ（週1回朝自習）○朝自習時の読書タイム（週2回）
葛渡小学校	○音読タイム○読み聞かせ（地域ボランティア・教職員）始業前○読書週間（読書クイズ・読書案内文作成・読み聞かせ）（11月）
久木野小学校	○朝読み（借りている本をいつも机の中に入れておき、それを読む）（8：15～8：25） ○読み聞かせボランティアによる読み聞かせ（月1回）
水俣第一中学校	○学級ごとに週4回の読書活動を位置づけている（朝自習）○生徒・先生からの「お勧めの本」紹介（図書委員会活動）
水俣第二中学校	○委員会による本の貸借の説明（5月）○朝自習による全学年読書（15分間）○委員会による新着本・おすすめの本のポスター作成と掲示
水俣第三中学校	○各クラスにて、一斉に行っている（朝自習の時間）
袋中学校	○一斉読書（朝自習：週4回）○小学生への読み聞かせ（学期に1回）
葛渡中学校	○お勧めの本の紹介（全生徒分）掲示（学期に1回）○読書冊数上位3人の生徒の表彰 ○全校一斉の読書50分間（毎週火曜日の6校時）
湯出中学校	○隣接する小学校への読み聞かせ（2カ月に1回）○文化委員会によるおすすめ本の紹介（2学期）
久木野中学校	○放課後30分程度の全校一斉読書「読書の泉」を実施一人3冊以上を目標に全校読書活動を実施（夏季休業中）

## Q5

水俣市では、「日本一の読書のまちづくり」を進めておられますが、このことについて教えてください。

心豊かで潤いのあるまち水俣をつくるため、水俣市は、日本一の読書のまちづくりを提唱しています。

平成19年3月に「水俣市読書のまちづくり推進協議会」を設置し、具体的な推進策を検討しているところです。平成19年11月には、「水俣市読書のまちづくり宣言」を行い、柳田邦男氏に「心の再生、いのちの響き～子どもを育て、大人を支える絵本たち～」と題して、記念講演を行っていただきました。また「読書の日」（毎月第2・第4土曜日）を制定し、読書ウィークを設けました。

平成19年度は読み聞かせボランティア養成講座を開催したり、「どうの本を選び、どうの本を読んでやったらいいのかわからない」という声に応えて、水俣市幼稚園・保育園・小学校・中学校連絡協議会で「水俣のこどもたちに読んであげたい、読ませたい本・絵本」の検討を行い冊子を作成しました。

また、巡回スクールライブラリーとして、全小中学校に移動図書館車による配本を毎月行っています。

平成20年度は、ブックスタート事業を5月から行っています。この事業では、水俣市保健センターにおいて、毎月4カ月児健診時において（毎月20名ほど）、担当者による読み聞かせを行い、絵本の楽しさを伝えながら絵本を贈呈しています。

また、地域においては、まちの中で本に触れる機会を増やすため、公共施設等に図書を設置し「まちかど図書コーナー」を始めました。これは、水俣市立図書館に寄贈される古本をリサイクルして行うもので、今後、駅などへの設置も考えています。また、健康高齢課が地域の公民館等で実施している「まちかど健康塾」で、8月から15分程度、水俣の民話など高齢者への読み聞かせも実施しています。

第2・第4土曜日の「読書の日」には、国際交流員による英語の読み聞かせをはじめ、「絵本の中のおやつづくり」「おりがみ教室」、さらには「しおりづくり」などを実施しました。



ブックスタートの様子



英語の読み聞かせ

## Q6

この事例集を読まれるみなさんにメッセージをお願いします。

どの学校でも、読書活動を週時程に位置づけ、朝読書や読み聞かせなどの子どもの読書活動に関する取組を行い、豊かな心や読書に親しむ子どもの育成を図っています。図書館では第2・第4土曜日の「読書の日」を中心に、子どもたちが楽しんで参加できるものを企画し、読書へのきっかけづくりを行っています。